

1 阿波おどりについて(新聞づくり)

名前

小学校五年生の小林さんの班は、総合的な学習の時間に、阿波おどりについて調べました。次の問いに答えましょう。

一 小林さんは、集めた【資料1】をもとにして「阿波おどり新聞」を作ることにし、下書きをしました。

【資料1】と【新聞の下書き】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【資料1】

※段落のはじめにある①から⑥までの数字は、その段落の番号を表しています。

- ① 徳島市では、毎年、八月に四日間、阿波おどりが行われます。多くの観光客がおとずれ、町全体がおどりの熱気でつまれます。実は、阿波おどりのよさを伝えるために、いろいろな工夫がされています。
- ② 阿波おどりは、連というグループでおどります。それぞれの連は伝とうを大切に守っています。同時に、その連らしい特色をだすために、おどり方やいしよなどについて、つねに工夫をし、練習を積み重ねているのです。
- ③ 阿波おどりの期間中は、演舞場とおどり広場が各所につくられます。演舞場では、おどる人と見る人に分かれており、それぞれの連は観客に「見せる」ためにおどります。それで、観光客は、演舞場では席にすわって、本格的なおどりを楽しむことができます。おどり広場では、それぞれの連は、おどる人と見る人の区切りがない場所で、自由なふんいきの中でおどります。それで、観光客は、おどる人と一体となって、じかにおどりを楽しむことができます。
- ④ 演舞場でおどりたいけれども連に入っていないという人のためには、「にわか連」が用意されています。その日に集合し、実際に演舞場でおどることができると、観光客にも喜ばれています。
- ⑤ 阿波おどりは夏だけのものではありません。何年か前に、徳島市の中心部に、阿波おどりに親しむ施設がつくられ、一年中、阿波おどりを楽しむことができます。写真や本などにより、阿波おどりの歴史を知ることができます。そこは、阿波おどりのよさを伝える施設であり、おとずれの人がふえてきています。
- ⑥ このように、阿波おどりは、いろいろな人たちによって、そのよさを伝える工夫がされ、よさが広がられています。

【新聞の下書き】

小林さんは、【資料1】をもとにして、次のような新聞の下書きを作りました。

阿波おどり新聞

ア

- 伝とうを大切に守っている。
- その連らしい特色を出すために、おどり方やいしよなどについて工夫をし、練習を積み重ねている。



いろいろなおどり場所のよさ

★観光客の立場から

- 演舞場のよさ
席にすわって、本格的なおどりを楽しむことができる

- おどり広場のよさ

イ

にわか連でおどり体験を

すぐにおどれるにわか連が観光客に……

一年中おどりを楽しむことができる施設

- 歴史を知る。
- 連の阿波おどりを見る。
- おどり体験をする。

(1) 【新聞の下書き】の上の段は、【資料1】の段落②をもとにしてまとめたものです。見出し
 アにはどのような言葉が入りますか。あとの1から4までの中からもっともふさわしいものを一つ選んで、その番号に○を付けましょう。

- 1 歴史と特色を大切にしている連
- 2 伝とうといししょうを守っている連
- 3 いししょうと練習を大切にしている連
- 4 伝とうと特色を大切にしている連

(2) 【資料1】をよく読み、【新聞の下書き】の中の「おどり広場のよさ」について、イに、「演舞場のよさ」と同じような書き方で書きましょう。

イ

二 小林さんの班は、もう少しくわしく調べて、新聞を仕上げることにしました。そこで、土曜日の午前中に、同じ班の人と五人で、「おどり体験」をするために施設に行くことになりました。ただし、時間の関係で、施設の中のミュージアムへは行きません。小林さんは、班の全員がわかるように、【資料2】をもとに、【連絡メモ】を作り、班の人に配ります。【資料2】と【連絡メモ】を見て、次の問いに答えましょう。

【資料2】

阿波おどりを知ろう 体験しよう

知っていますか？

知ろう

★ミュージアム（3階）で阿波おどりの歴史をしょうかい

体験しよう

★ホール（2階）で連のおどりを見たあと、「おどり体験」

■開館時間

午前10時～午後5時

★ミュージアムでは
阿波おどりの歴史が
わかるよ★

★阿波おどり体験ができるよ★

（連のおどりをみるのと合わせて40分間）

月～金曜日は1日3回	土・日・祝日は1日4回
1回目 午後2時から	1回目 午前11時から
2回目 午後3時から	2回目 午後2時から
3回目 午後4時から	3回目 午後3時から
	4回目 午後4時から

★入場料のお知らせ★

	おとな 大人	中学生・小学生
ミュージアム	300円	150円
阿波おどり体験	500円	250円

★「おどり体験」をしよう★

(1) 日 時 7月5日(土曜日)

* 集合時こく 午前10時30分

(2) 持っていくもの

①「阿波おどり体験」の入場料

一人 円

②メモ・カメラなど(記録のために)

みなさんへ

「阿波おどり体験」の1回目は、

に始まります。

(1) 【連絡メモ】の と の中に入るふさわしい言葉や数字を、【連絡メモ】に

合わせて、横書きで書きましよう。

...

...

(2) 「みなさんへ」の の中には、小林さんが班の人に伝えたい言葉が入ります。あなたなら、どんな言葉を書きますか。前の文に続けて、【連絡メモ】に合わせて、横書きで、一文で書きましよう。
